

第320回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成27年7月27日(月)午前11時00分より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 9人 出席委員9人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
村松 敦	委員	春日 貴光	委員
碓井 真史	委員	原田 健一	委員
大久保 千春	委員	田村 明子	委員
尾畑 留美子	委員		

会社側出席者

代表取締役社長	室川 治久
常務取締役編成局長 兼 番組審議会事務局長	
	須佐 博樹
取締役(報道・制作・技術・国際担当)	平野 真一
執行役員報道制作局長	稲田 裕之
報道制作局次長兼制作部長	小木 裕介
報道制作局 合評番組プロデューサー	吉野 龍太

事務局	増子 隆	水野 明子
-----	------	-------

4 議 題

1) 番組合評

「新潟一番サンデープラス」

[放送：6月21日（日）11:40-12:30]

(説明：番組プロデューサー 吉野 龍太)

2) 会社報告

① 6月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

② 講じた措置、公表など定例報告等 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要（委員の意見）

会社側から、番組の全体コンセプトは「見れば得する番組」であり、番組を進行するアナウンサーが視聴者と同じ視点で一緒に楽しむ、グルメやレジャーを中心とした特集コーナー、その他にも、視聴者との双方向性を取り入れたコーナーやエンタメ情報などで構成し、日曜のお昼に、ほのぼのと、肩肘張らずに見ることのできる番組を目指しているという説明があった。

- もう少し違う要素も盛り込める隙間がありそうに感じた。地元の人への気付きが大事なこと、人や場所や文化など、たくさんあるだろうし、新潟の魅力探しが見られる番組になるといいなあと感じた。
- バラエティに富んだ内容の情報が満載でわかりやすく、気楽に楽しめる番組だと思う。

- スタジオのアナウンサーとスタジオ外の声（天の声）の掛け合いのテンポが良い。また、諸橋アナは視聴者の気持ちを汲んで即座に的確なコメントをしていた。
- 全体的にアナウンサー達のツッコミがもっとほしい。視聴者はT e N Yと、そのアナウンサーが好きで見ていると思うので、もっと自由な発言があると楽しさもアップすると思う。
- 映画紹介の営業的なコメントが興ざめだった。視聴者の気持ちと繋がるようなコメントがほしかった。
- わかりやすく、そつなくできているが、パターン化している部分があり、物足りなさを感じた。BGMやコメントの有無や目先を変える演出などのメリハリをつけたらどうか。
- ローカル番組のグルメ紹介はよくあるが、どこかが紹介しないと、皆が全国チェーンのレストランばかりにいつてしまうので、県内のお店の紹介は大切なことだと思う。
- 花しょうぶの中継は間延びしているように感じた。花の美しさだけでなく、場所などの特筆すべき特徴などを盛り込む形で伝えてほしかった。
- グルメ紹介で“食リポ”がないのは新鮮で面白かったが、お店と料理紹介の繰り返して後半にはマンネリ感があつた。
- 紹介された“コンビグルメ”は食べたいと思わず、自分はこの番組の視聴者ターゲットではないと感じた。
- 花しょうぶの咲く公園の詳しい場所の説明がほしかった。
- この番組は、T e N Yファンの視聴者に対してのコミュニケーション番組であり、対象は子供と若い夫婦のファミリーだと思う。明るく楽しく、リズム感も良く、訴求ポイントがよくわかつた。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

6月…… 180件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成27年6月22日)から昨日(平成27年7月26日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回、第319回審議会では、「NNNドキュメント‘15 あいつは、ミナだ 差別と闘い 新潟水俣病50年」を審議いただきました。委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第320回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

・6月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表

・民間放送新聞(6/23、7/3・13、7/23号)、BPO報告 NO.150

以上